

(参考)

佐伯市のこれまでの取組について

平成27年8月

佐伯市 秘書政策課

地域づくり

○現状等

- ・高齢化の進行: 高齢化率50%を超える行政区は372区中、97区。中心市街地にも高齢化率50%を超える行政区が存在。
- ・九州一広いまちにおいて進行する少子高齢化・過疎化。
- ・発生確率の高い南海トラフ地震に対する防災の必要性。
- ・「街・浦・里」の豊富な地域資源。



○主な施策

【活性化チャレンジ事業】

合併前の旧市町村単位において、地域振興に資する多様な取組を積極的に支援。

【さいきの茶の間運営事業】

地域の身近な生活の場に、気軽に立ち寄れる「地域の集いの場」＝「さいきの茶の間」を住民主体の運営を支援。市内28箇所で開催中。

【里のくらし支援事業】

小規模集落における集落の維持・活性化につながる長期に機能する取組を支援。

※小規模集落: 「高齢化率50%を超える地区または離島・山村・辺地地域」大分県の定義

【自主防災事業】

地域の防災リーダーとなる防災士の育成及び養成をはじめ、自主防災組織が主体的に実施する防災訓練や防災資機材の購入、防災備蓄倉庫の整備に対する助成等、自主防災組織の活動の活性化を推進。

○課題

- ・地域づくりを担う人材不足
(担い手の減少、リーダー人材の高齢化)



子育て支援

○現状等

- ・合計特殊出生率は1.6前後で推移。全国の値を上回る。
- ・出生者数はゆるやかな減少傾向。
- ・14歳未満の子どもがいない行政区は372区中、28区。
- ・男性の育児休業取得は1.5%。



○主な施策

【さいきっ子医療費助成事業】

0歳児～中学3年生の医療費無料化

【病児病後児保育】

保護者が仕事などの都合により、昼間家庭で看病などを行うことができない場合に、保護者にかわって専門の保育施設で一時的に子どもを預かる事業

【放課後児童クラブ運営事業】

保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもに対して、放課後の遊びと生活の場を提供する。児童だけでなく、幼稚園児も受入。

【子宝支援事業】

不妊治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用を一部助成。

【特色ある学校づくりサポート事業】

PTA、地域との連携に努め、創意工夫に満ちた魅力ある学校づくりに対する助成。

【スクールバスの運行】

遠距離通学の児童・生徒のうち、定期路線等の利用ができない区域の児童・生徒を対象にスクールバスを運行。

○課題

- ・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の拡充
- ・男性の育児参加



農林水産業支援

○現状等

- ・温暖な気候でイチゴ、高糖度トマト、マリンレモン、ホオズキなどの様々な農産物。
- ・木材素材生産量は、県内シェアトップ。
- ・ブリ・ヒラメを主体とした全国トップレベルの養殖業。
- ・人口減少・高齢化等による農林水産業の就業者の減少。



○主な施策

【次世代を担う園芸産地整備事業】

イチゴ、ニラ、キク、ホオズキなどの栽培施設について、企業の経営体の育成を主眼に支援する事業

【新規就農総合支援事業】

一定の要件を満たす45歳未満の独立・自営就農者に対し、年間150万円×最長5年間の給付を行う事業

【木造住宅建設助成事業】

佐伯市産木材の需要拡大のため、佐伯市産木材を利用して新築・増築する場合及びリフォームする場合に構造材の費用に対して1㎡あたりそれぞれ3万円及び5万円を補助する事業。

【強い水産業づくり交付金事業】

効率的かつ安定的な漁業経営の育成、水産物の安定供給、漁業生産基盤としての共同利用施設の整備を目的とし、製氷貯水施設整備などについて、漁協に補助金を交付する事業

【さいきブランド創出事業等】

佐伯市産品のブランド化、流通促進のための販促活動・調査・商品開発などに補助するとともに、さいき産品をブランド認証し、その周知度向上や生産者の所得向上を目指す事業



○課題

- ・新規就農者や担い手の育成
- ・農地の集約化、環境保全の推進
- ・苗木育成から再造林まで「佐伯型循環林業」の確立
- ・漁場の保全事業の促進



商工業支援

○現状等

- ・県南地域の商工業の中心として発展してきた歴史。
- ・商店街の疲弊による中心市街地における空き店舗が増加。
- ・企業誘致における厳しい競争環境。
- ・地元経済の低迷。



○主な施策

【企業立地助成金】

佐伯市内に新設・増設する企業に対する助成。県内トップクラスの優遇制度。新市発足以降、24件・総雇用数275人の実績。

【地域総合整備資金貸付事業(ふるさと融資)】

金融機関と共同して地域振興に資する民間事業(設備投資)に対して行う無利子融資。

【佐伯市企業説明会・相談会の開催】

高校生を対象とした地元企業の説明会・相談会。

【さいき立志塾の開催】

若手経営者や後継者に加えて、支援団体職員を対象とした人材育成塾。

【中心市街地空き店舗活用事業】

中心市街地の空き店舗を活用した起業に対する初期投資等の支援。

【プレミアム付き商品券の発行】

佐伯商工会議所・佐伯市番匠商工会・佐伯市あまべ商工会で組織する「さいきプレ券発行委員会」が発行する20%のプレミアム付き商品券に対する助成。

○課題

- ・雇用者と求職者とのミスマッチ
- ・企業誘致・留置の更なる推進
- ・創業に対する支援



観光振興

○現状等

- ・東九州自動車道無料区間(佐伯～延岡南)の開通。
- ・日豊海岸国定公園・祖母傾国定公園といった風光明媚な自然景観。
- ・「街・浦・里」の豊富な食の資源。
- ・突出した観光資源がなく、資源の磨き上げが必要。



○主な施策

【ツーリズム戦略事業】

県・市・関係団体により「味力全開！九州一・佐伯 ツーリズム重点戦略」を策定し、「街・浦・里の魅力(味力)を活かした周遊型観光を推進。

例)案内看板の統一化、「食の土産」開発など

【食観光の推進】

食の4大キャンペーン(佐伯寿司・ごまだしうどん・どんぶり街道・東九州伊勢エビ海道)等を推進。

【蒲江インターパーク整備事業】

東九州自動車道蒲江IC付近に、市と民間により休憩施設や情報提供機能を有する施設を整備。

【広域連携の推進】

大分県由布市と広島での合同観光PR等。宮崎県延岡市、高知県宿毛市とも観光面での広域連携を図っている。

【各地域における交流人口増加への取組】

旧市町村単位で地域資源に着目したまつりなどの開催に対する支援。

○課題

- ・東九州自動車道IC開通に伴う波及効果が限定的。
- ・情報発信の不足
- ・広大な市域に点在する施設。観光インフラ整備に限界。

